

ただ 町政を質す



9月定例会の初日(9/3)に次の事項について一般質問が行われた。(通告順)

- ◆ 須藤 典夫 議員……………P9
 - ①「ふるさと納税」の利用者増対策を考える
 - ②ホットハウスカム口の今後の方向性について
- ◆ 大場 洋介 議員……………P10
 - ①災害に強い水道事業の運営について
 - ②持続可能な地域交通の課題について
- ◆ 寒河江 宏一 議員……………P11
 - ①金山町の介護行政について
- ◆ 沼澤 道也 議員……………P12
 - ①廃校活用の展望
 - ②今後の町教育の展望
- ◆ 星川 智子 議員……………P13
 - ①グリーンバレー神室全体の今後の方向性について
- ◆ 早坂 憲明 議員……………P14
 - ①持続可能な町づくりについて

一般質問とは

年4回の定例会で行う。議員が町の行政全般について、事業執行の状況や将来の方針等について所信を質し、あるいは、報告や説明を求めるなどの政策論議の場である。
町議会では、質問要旨を事前に通告することとし、60分という限られた時間内で、大所高所からの建設的で簡明な質問が求められている。

「ホットハウスカムロ」改築は可能か

回答 結論は3月末、検討委員会を設置



須藤 典夫 議員

再建は将来への 財政負担

須藤典夫議員 温泉施設の改築に約6億2000万円ということですが、説明を受けているが、将来への財政負担や町全体の人口減少を考え、今後の方向性について伺いたい。

町長 木部の老朽化が著しいということから、数年以内の建て替えか取り壊しが必要だと、調査業者から報告を受けている。

建て替えには最大で約6億2000万円の費用が見込まれている。再建のための財源については、入浴料等の収

入見込み額を除いた額が借り入れ可能となるので、起債を起こすことはできるが、補助金というのはいまのところ該当するものはない。起債を起こした場合、総額で大体5億3800万円、それらを借り入れた場合、過疎債としても、3年据え置き12年償還で、年約6000万の償還というふうになり、これが辺地債の場合は、2年据え置きで10年償還で、総額5億5200万円を借り入れた場合毎年7000万円の償還が必要になるといった試算になる。

これに、ランニングコストが当然かかるので、こちらは、これまでの実績から推計すると、毎年度の指定管理料、2400万から2500万を支出しており、入湯料は入るが、こちらの方は年間400万程度の収入として見ることはできる。



親しまれているホットハウスカムロ

それでも、ランニングコスト的には差し引きすると、2000万円が別枠にかかるというような計算になる。その意味で、大変運営するというのでは厳しいというのが現状である。

人口減少或いは少子高齢化など、今後も税収の減収が見込まれることから財政的な側面から見ると、慎重な判断が必要だと考えている。

検討委員会の 意見を尊重

ホットハウスカムロは、グリーンバレー神室の施設群の一つであるので、グリーンバレー神室全体での検討が必要と考えている。そのため新たな組織を設置して、グリーンバレー神室全体の方向性について検討いただき、それを基本として、町の方向性として整理し、それらを広く周知し、町民の皆さんからのご意見、いわゆるパブリックコメントをお聞きした上で、最終的な判断をして、結論に導いていきたいと考えており、今年度末を目的に町としての一定の結論を出したい。

その他の質問

- ふるさと納税に関する